

## FAQ（良くある質問）

区分	質問	回答
<b>準備</b>		
共通	BCPの基本的なことから学びたいのですが、参考となる資料はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護施設・事業所におけるBCPのガイドラインは、下記のURLで公開されています。 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/taisakumatome_13635.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/taisakumatome_13635.html</a></li> <li>● 新型コロナウイルス感染症BCPおよび自然災害BCPを作成するための動画・資料は、下記のURLで公開されています。 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00002.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00002.html</a></li> </ul>
	BCP策定の体制は、どうすれば良いですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・事業所単位でBCPを作成することが原則です。その際は、施設長・責任者を筆頭に、各部門の代表者が参加し、検討を行うことが望まれます。</li> </ul>
	法人内に複数の施設・事業所を持つ場合の注意点はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数の施設・事業所を持つ法人では、法人本部としてのBCPも別途作成することが望まれます。その際、施設・事業所の個別の事情を勘案し、以下の事項を記載することが望まれます。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 法人本部のBCPと施設・事業所単位のBCPは連動していること</li> <li>2) 法人本部は各事業所と連携しながらBCPを作成すること</li> <li>3) 法人本部と施設・事業所間の物資や職員派遣等の支援体制について</li> </ol> </li> </ul>
感染症	感染症BCPの策定にあたり、令和3年度介護報酬改定で、全てのサービスで設置が義務化された感染対策委員会(3年間の経過措置あり)を活用してもよいでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 差し支えありません。</li> </ul>
<b>BCP策定</b>		
共通	優先業務は、どのように考えれば良いですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入所系の場合は、生命の維持に必要な業務を優先します。例えば、食事、与薬、医療的ケアなどが該当します。通所、訪問系の場合は、利用者の状況に応じた優先度付けが、有効になります。感染症BCPのひな形の様式9に例がありますので、参考にしてください。</li> </ul>
	職員に対する研修はどの頻度で行えばよいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・居住系ではそれぞれ1年に2回以上、在宅系では1年に1回以上の訓練が必要となります。また、新規採用時には別途研修を行う必要があります。</li> </ul>
	訓練はどの頻度で行えばよいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設・居住系ではそれぞれ1年に2回以上、在宅系では1年に1回以上の訓練が必要となります。</li> </ul>
	訓練の実施はどのような手法で行えばよいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 机上及び実地で実施するものを適切に組み合わせながら実施することが必要です。</li> </ul>

区分	質問	回答
	BCPは、どのようなときに見直せばよいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下のような事象があるごとに見直すことが望まれます。また、見直した際には、更新履歴を残し、更新日・更新内容が分かるようにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する法令や規則、ガイドライン等が見直された時（例：避難情報に関するガイドライン、福祉避難所の確保・運営ガイドライン等）</li> <li>・ハザードマップが見直された時</li> <li>・セミナー等でBCPや防災について、情報を得た時</li> <li>・訓練の結果を受けて、改良点が出た時</li> <li>・実際に災害が発生しその対応を受けて、改良点が出た時 など</li> </ul> </li> </ul>
感染症	新型コロナウイルス感染症の最新情報は、どこから入手すれば良いですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 厚生労働省のホームページに特設ページがあります。  <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html</a> </li> </ul>
	感染防止対策についての参考資料はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護事業所等向けの新型コロナウイルス感染症対策等については、下記のホームページにまとめられています。  <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/taisakumatome_13635.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/taisakumatome_13635.html</a> </li> <li>● 「介護現場における感染対策の手引き」  <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf</a> </li> <li>● 介護職員のための感染対策マニュアル（手引きの内容を概略したもの（それぞれ全 20 ページ））  （施設系） <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678255.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678255.pdf</a>  （通所系） <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678256.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678256.pdf</a>  （訪問系） <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678257.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000678257.pdf</a> </li> </ul>
	感染対策の解説動画はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下記のページに介護事業所の解説動画がまとめられています。  <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00006.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/douga_00006.html</a> </li> </ul>
	訓練（シミュレーション）を行う際のシナリオを考える際に参考となる資料はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 机上訓練のシナリオの例が、「介護現場における感染対策の手引き（第2版）」の179ページにあります。  <a href="https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf">https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000814179.pdf</a> </li> <li>● また、BCPガイドラインの15ページの「参考：職員確保について」にも、事例が掲載されています。  <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/taisakumatome_13635.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/taisakumatome_13635.html</a> </li> </ul>
	感染症の予防及びまん延の防止のための研修・訓練との関係はどうなりますか？	<p>感染症の業務継続計画に係る研修・訓練は、感染症の予防及びまん延の防止のための研修と一体的に実施することも差し支えありません。</p>

区分	質問	回答
自然災害	リスクは、どのように考えれば良いですか？	<p>● 下記のホームページでハザードマップが確認できます。 地震だけでなく、津波、液状化、水害、土砂崩れも確認できます。 地域によっては溜池にも注意が必要です。 <a href="https://disaportal.gsi.go.jp/">https://disaportal.gsi.go.jp/</a></p>
	地震の時の電気、水道の停止期間をどのように想定すれば良いですか？	<p>● 東日本大震災について厚生労働省が発表した報告書（東日本大震災水道施設被害状況調査報告書（平成23年度災害査定資料整理版））によると、震度7の場合は、以下のようになっています。 例えば、震度7の地域では、電気は、最長1週間、復旧しません。水道の場合、3日目以降、給水車が来ましたが、人口密集地域では、十分な給水が実施できない可能性もあります。また、施設・事業所が市街地から離れている場合は、復旧が遅くなる可能性もありますので、自治体や地域住民との連携も検討しておくことが望まれます。</p> <p>電気 3日後 : 52%、1週間後 : 99% 水道 3日後 : 50%、3週間後 : 99% 都市ガス 3週間後 : 42%、5週間後 : 99%</p> <p><a href="https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/houkoku/suidou/121214-1.html">https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/houkoku/suidou/121214-1.html</a> なお、震度6程度の場合の想定は、公式にはないため、上記の震度7の50%復旧を目安にして下さい 例えば、電気は3日で復旧する想定など</p>
	建物の安全は、どのように調べれば良いですか？	<p>● 建築基準法は大規模な災害が起きるたびに見直し・改正されているため、定期的に内容を確認することが大切です。特に建築基準法の耐震基準は1978年と1981年に大きな改正がされています。1981年以前の建物の場合、旧の耐震基準の可能性があるので、専門家に耐震診断を依頼する等の検討が必要です。また、1981年以降でも、建築から相当な年数が経っている建物や木造の建物は、専門家の耐震診断を依頼する等の検討が必要です。</p>
	災害BCPの発動は、どのように考えれば良いですか？	<p>● 以下のような基準を決めておくと、発動がスムーズになります。一例を示しますが、立地や耐震性能等、自施設の特徴を踏まえた検討が必要です。</p> <p>地震：施設所在地の都道府県で震度5強以上の地震が発生した場合。 台風・水害：施設所在地の都道府県で大型台風の直撃が見込まれる場合。または、警戒レベル2の気象庁の大雨・洪水・高潮注意報が発令された場合。(※) 火災：施設内で火災が発生した場合。</p> <p>※介護施設・事業所では、台風・水害で大勢の方の避難が必要になるため、警戒レベル3の高齢者等避難が発令されてから避難できるか、日中に避難ができるか等の検討が必要。</p>
	停電時の照明は、どのような点に留意しておくが良いですか？	<p>● 停電に備えて、懐中電灯を準備している場合が多いですが、ヘッドライトだと両手が使えて便利ですので、ヘッドライトの備蓄もあわせて検討ください。 また、廊下にランタン（LEDタイプ）を設置するのも有効です。 なお、停電は、訓練で簡単に災害時の状況が作れることから、実際に電気を消した訓練も行えますが、その際は安全に十分注意して実施ください。</p>

区分	質問	回答
	発電機の種類や規格等に定めはありますか？	● 特段規定はありません。事業所での業務継続に必要な物を用意してください。
	食料、飲料水の備蓄は、どのようにすれば良いですか？	● 定期的に、防災訓練も兼ねて実際の食事に使用し、賞味期限を考えて新しいものと入れ替えることが望まれます。
	生活用水（トイレ用）は、どのように考えておけば良いですか？	● 貯水槽・受水槽の水の活用を考えましょう。但し、貯水槽・受水槽が被害を受けないような対策が必要です。近隣で井戸のある家、企業等と支援契約を結ぶことも考えられます。（井戸水は災害により水質が変化する可能性があるため飲用としないこと）川の水を汲んで、トイレに利用したケースもあります。
	災害時の通信手段は、どのような点に留意すれば良いですか？	● 地震の時に停電になると、法人内で情報連絡ができない可能性があります。こうした場合に備え、MCA無線を準備しておくことも考えられます。 <a href="https://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/musen/mca/index.html">https://www.soumu.go.jp/soutsu/tokai/musen/mca/index.html</a>
	訓練について、非常災害対策に係る訓練との関係はどうなりますか？	● 災害の業務継続計画に係る訓練については、非常災害対策に係る訓練と一体的に実施することも差し支えありません。
水害	水害のリスクは、どのように考えれば良いですか？	● ハザードマップで水害の想定を確認します。 <a href="https://disaportal.gsi.go.jp/">https://disaportal.gsi.go.jp/</a>  安全な場所が、どこかを判断します。（例えば、施設内で垂直避難、法人内の別施設など。） その上で、安全な場所までの避難方法を決めておきます。
	水害の発生情報は、どのように入手すれば良いですか？	● 河川によっては、タイムライン（高齢者等避難は河川氾濫の何時間前かの目安が書かれている）があるので、近隣の河川ごとのタイムラインを確認しましょう。 例えば、東京都の荒川の場合は、下記が参考となります。 <a href="https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000725353.pdf">https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000725353.pdf</a>  避難にかかる時間を推定します。避難に長時間かかる場合は、早めの避難を判断できるように計画します。 施設外への避難の場合、避難をためらわずに、早めの昼間に避難を検討します。